



真野和久 議員

## 耐震改修助成拡充に真剣な取り組みを

### 質問

名古屋市では判定値が0.7以上1.0未満の改修で、上限40万円の助成を行っている。来年度から津島市も始める。地震の際の命を守るという点でも、やりやすい形での簡易耐震改修が必要ではないか。

また、できるだけ多くの危険のある家を改修するために、建て替、取り壊しに対する補助が必要ではないか。

昭和56年5月31日以降の建物でも、希望者への無料診断、改修助成も必要ではないか。

### 経済建設部長

県の補助制度に基づいて実施し、20万円の上乗せ補助を行っている。現段階でこれらの助成は考えていない。

### 質問

PRだけでは進まないからこそ、それぞれの市町がどうすれば耐震化が上がるか工夫している。家が倒壊し命をなくすことは、はかり知れない損失。多くの被災家屋の破却や処分、家をなくした方々の支援など、愛西市も多くの財政を使うことになる。だからこそ防災ということが重要

なわけではないのか。

### 副市長

市民の命を守るという施策

は重要なこと。周辺自治体の状況も踏まえ、もう少し積極的に考えていきたい。

## 学校大規模改修を計画的に

をつくり、トイレの改修やエアコンの設置の問題も含めて計画的な改修を進めては。

### 教育部長

愛西市では、学校を含め公共施設、財産の長寿命化計画を作成するための組織を立ち上げ、中・長期的な改修計画の策定、省エネ化などに配慮した施設整備の策定、大規模改造の優先順位などを検討する準備を進めている。その中で学校のトイレ改修も検討課題として考えている。

### 質問

永和小学校に行かれた方から、「トイレが大変におうの

で改善をしてほしい」という話が寄せられた。訪問したところ、3階トイレのにおいがひどく、廊下中に芳香剤のにおいが広がっている。早急に対策と改善を。

### 教育部長

また、立田の北部小学校の中学校舎の2階にはトイレがない。改修を。

愛西市全体の学校トイレの悪臭などを19年に調査し、改修した。しかし、永和小は、鉄管の中がさびていることによる悪臭も否定できない。対策として、床トラップの改修や高圧洗浄、薬品洗浄などを実施していきたい。

立田北部小の件も、長寿命化計画の中へ課題として入れて検討していきたい。